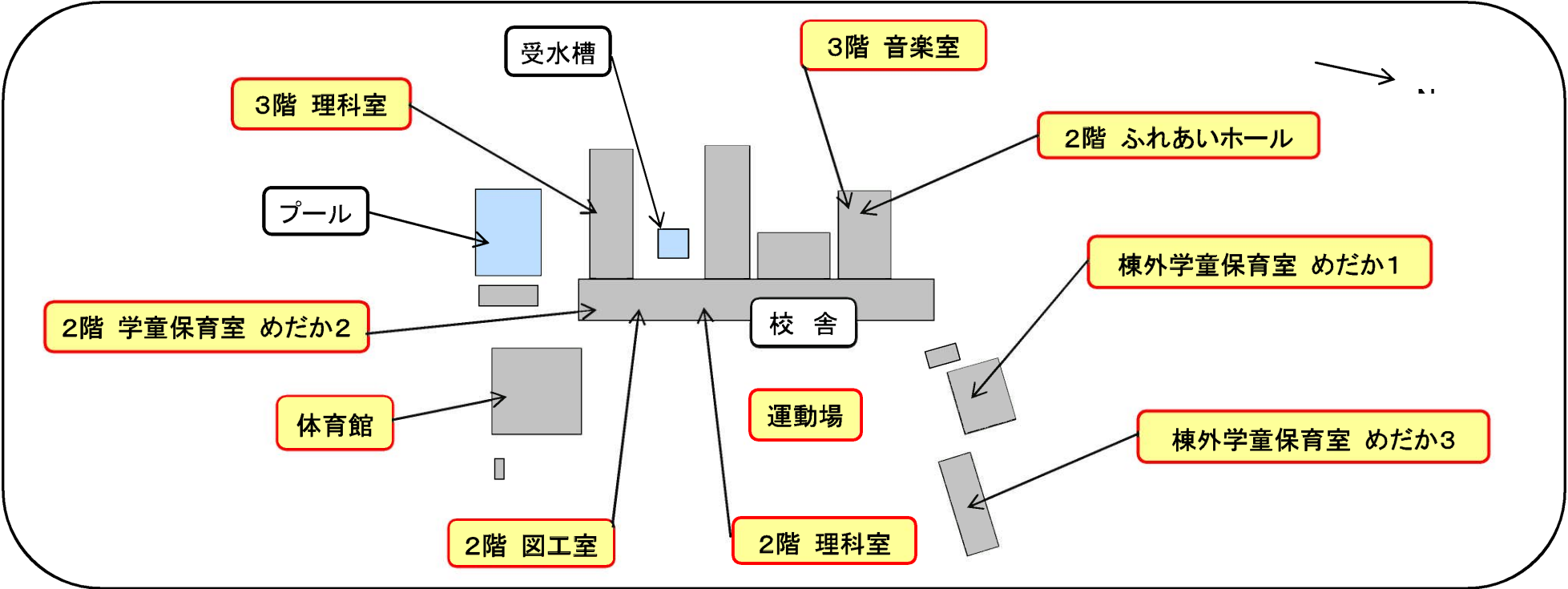


避難者収容施設図

目 次

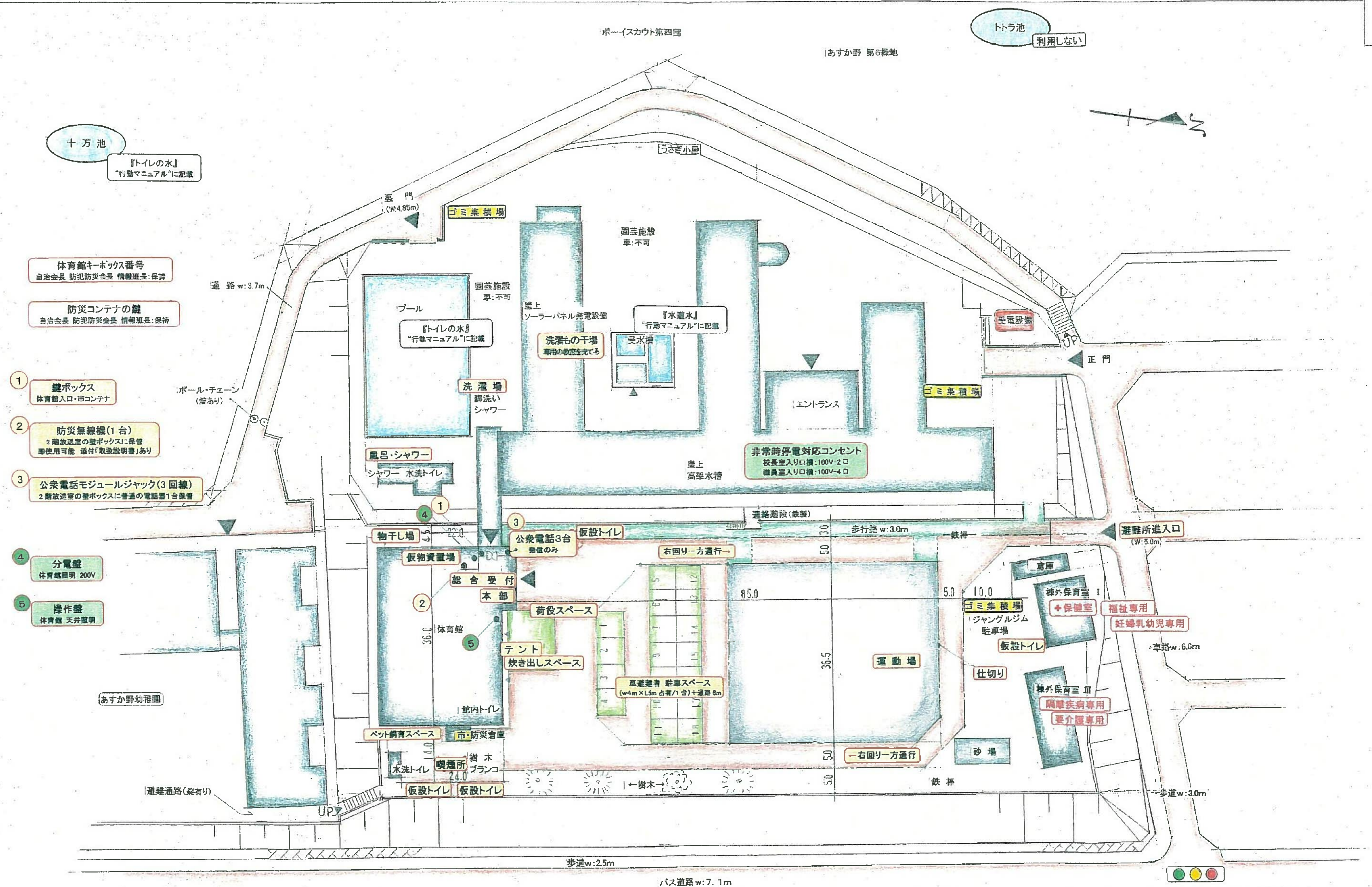
図 番 号	・	施設名称(収容人数)	ペ ー ジ	[特 記]	
				総収容人数:273名	
				* ブース寸法:縦:2. 0m×横:1. 5m/人 * 子供は小学6年生まで、中学生から大人扱い。 * 収容順序:体育館→2階 ふれあいホール→2階 図工室→3階 音楽室→2階 学童保育室 めだか2→2階 理科室→3階 理科室→棟外 学童保育室 めだか1→棟外 学童保育室 めだか3。 * 校舎内施設は、『健常者向き』である。(1～3階まで昇降は階段足腰の弱い人は、無理) * 避難状況により、『はばたき』・『自治会館・南北集会所』に移動。 * 『隔離を要する方』と『遺体』は、市に連絡。	
1		総合配置計画図	1	小学校敷地図に、学校施設と避難所関連設備を記す。 人と物の動きを定めた。車両は、『一方通行の厳守』	
2		炊出し・避難車場 計画図	2	『炊き出し』と『車で避難の駐車場所』を定めた。車の避難者を極力制し、クレームの抑制と運動場の拡大を図る。	
3	1	体育館 (76名)	3	[基本] ☆避難所本部を置き、エントランスに『総合受付』を設ける。 避難者が数名であっても、『一先ず、体育館に収容』 76名までは、図の通り収容。 ☆『隔離の疑いがある方』は、『めだか3の2階』に、『怪我の方』や『病気の方』は『めだか3の1階』に導く。 『車椅子』は、入口にスロープが必要。 ★土足を禁じ、ビニール袋を使用。	
	2	〃 (132名)	4	避難者が多く、最大収容を優先した場合＝132 名。 収容状況に適うように、ブースの列・行を削除し、通路・多目的スペースを設けて、臨機応変の受け入れを工夫。	
4		2 階 ふれあいホール (30名)	5	多くの収容を図った場合の例。 代替え案:入口部4ブースを削除して、共用スペースを確保。ブースを壁面に付ければ、通路幅1. 0mとなり収容数26名。	
5		2階 図工室 (8名)	6	位置的に、校舎内避難施設の状況を把握しやすい。 体育館と比較的に近く、避難所本部と連結はやすい。 『よろず相談・カウンセリング』を設け、避難者の健康保持と不安解消を図る。 談話コーナーを設ける。 シンク・鏡があり女性の生活に適す。	
6		3階 音楽室 (25名)	7	入口前に高さ16cmの段が2段ある。 部屋中央の床に、南北方向の2本の H:160cm の段差がある。 『足腰に不安のある方は、無理』 代替え案:入口4ブースを削除して、共用スペースを設ける。	
7		2階 学童保育室 めだか2 (21名)	8	体育館本部と外部階段を通して近く、校舎内避難施設を纏め本部と連絡しやすい。 トイレ(大2・小2)・流しシンク・ガスコンロ・洗面シンク・手洗いシンク・洗濯機・冷蔵庫あり。 水道・電気・ガスが使えれば、生活は便利。	
8		2階 理科室 (女性・キッズコーナー) (夜間 5名)	9	『女性コーナーとキッズコーナー』を設けて、昼間は『憩いの部屋』 母親も子と共に『精神面の解放の場』 窓にカーテン・カガミを配す。バルコニーは、洗濯干し場となる。 子供達が日中に集い遊ぶ、近くに母親が見えていれば精神面の健康保持よし。 夜間の就寝スペースは、5ブース可能。	
9		3階 理科室 (13名)	10	余裕のあるブース配置。 中央6ブース群を縦に分割し『通路』を設けるも良い。	
10		棟外 学童保育室・めだか1 (14名)	11	正門前の車路に接しており、校外に直ぐ出られる。 『保健・衛生などよろず相談・カウンセリング』を設け、『精神面の負担軽減』を図る。 水道・電気・ガスが使えれば、2WC・流しシンク・コンロ・冷蔵庫・洗面手洗いを備えてあり、生活は便利。 入口の 3 段にスロープを設置し、中央4ブースの1行を削除すれば、『車椅子』に適す。	

図 番 号	・	施設名称(収容人数)	ペ ー ジ	[特 記]
11	1	棟外 “ めだか3 1階 (13名)	12	『病気・怪我の方』を導く。『車椅子は、直に入れる』 4WC・シャワー・1洗濯機・流しコンロ・2冷蔵庫・手洗い・下足箱を備えている。 1～5ブースを削除し『福祉多目的スペース』を設ける。 『車椅子』の生活は便利。
	2	棟外 “ めだか3 2階 (9名)	13	2階は独立して、非常外部階段を通り出入りできる。 『隔離の疑いがある方』に適し、使用時は内部ドア4方に目張りテーピング。 『女性と子供の専用室』又は『福祉関連の専用室』可。
12	1	自治会館 1階 (15名)	14	余裕のある収容。『車椅子は、直に入れる』 ホールの『仕切りアコーディオンドア』は、仮払いし床面積を広く。トイレ・湯沸し・手洗いあり。
	2	“ 2階 (20名)	15	和室は、『女性・乳幼児専用』か『軽程度の福祉用』 『非常口』の和室の窓を跨げば、外部階段を通り駐車場に出られる。トイレ・湯沸し・手洗いあり。 中央ブース群を適宜削除、『共用スペース』を設ける。
13		南・北集会所 (12名+12名=24名)	16	『車椅子』は、駐車場から利用できる。 トイレ・湯沸し・手洗いなど設備あり。アットホーム的な生活空間。



推定避難者数
条件:冬夕方
(2016.02.22 危機管理課)

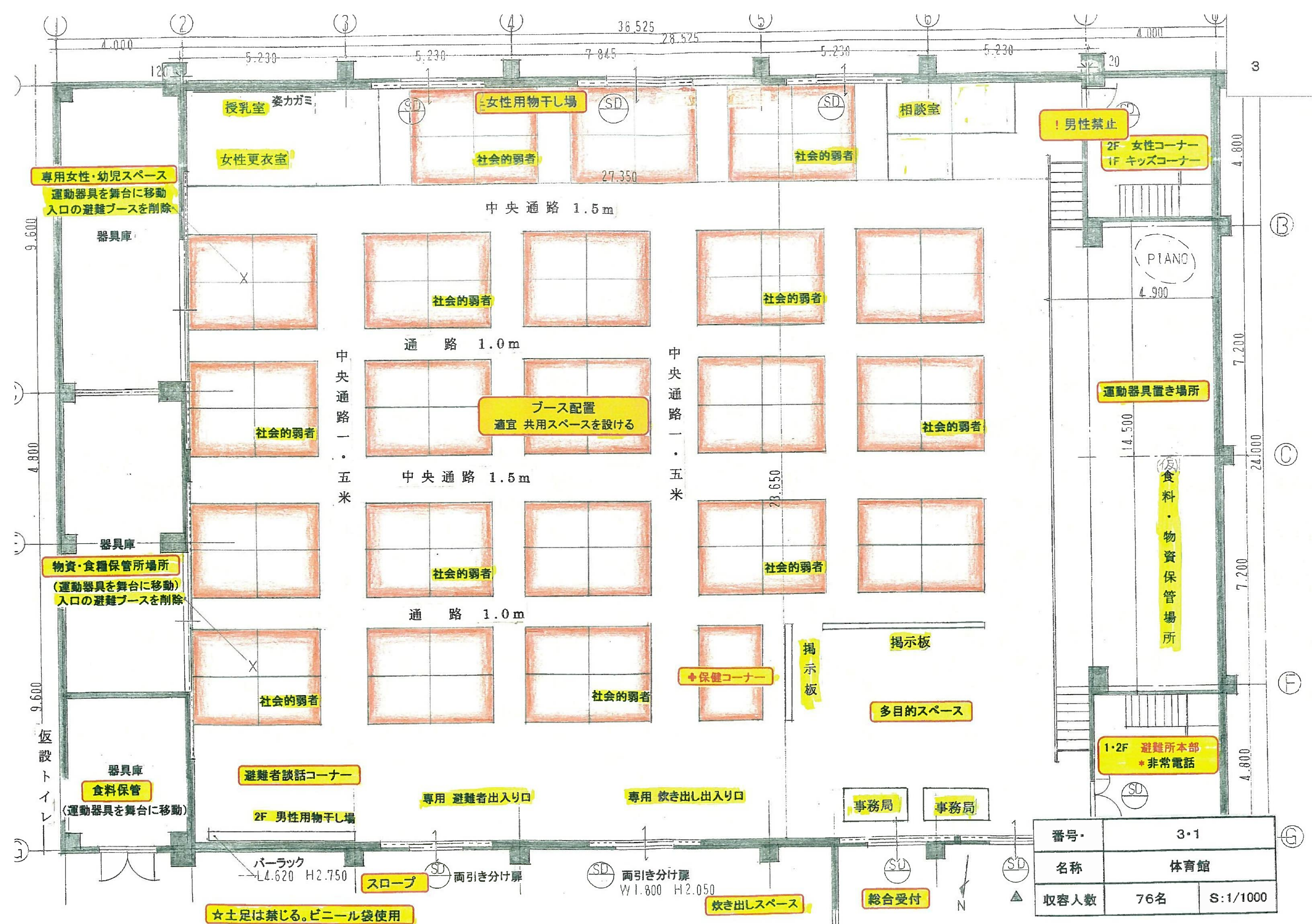
- *【生駒断層帯】…………… 500人
- *【矢田断層】…………… 180人
- *【奈良盆地東縁断層帯】…… 139人
- *【南海トラフ地震】…………… 224人



番号	1
名称	総合配置計画図
収容人数	S:



番号	2	
名称	炊出し・避難車場 計画図	
収容人数	名	S:





ブース群の列・行を適宜削除、
多目的スペース・通路拡幅 可

番号・	3・2	
名称	体育館	
収容人数	132名	S:1/1000

☆土足は禁じ ビニール袋使用